

## 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

### 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和3年3月31日  
作成担当部 企画政策課

### 2 第三セクター等の概要

法人名 有限会社 仲南振興公社  
代表者名 馬場 静雄  
所在地 香川県仲多度郡まんのう町追上4 2 4 番地1  
設立年月日 平成15年11月20日  
資本金 16,100千円 【当該地方公共団体の出資額(出資割合)15,000千円 ( 93.1%)】  
業務内容 農畜産物の加工及び販売  
飲食店の経営  
貸会場、旅館、公衆浴場の経営 等

### 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでのまんのう町の関与

当法人は平成15年に第三セクターとして設立され、塩入ふれあいセンター（塩入温泉）、塩入ふれあいロッジ、塩入ふるさと研修館、塩入健康センター、仲南道の駅交流センター、仲南特産品センター、二宮忠八飛行館の7施設について指定管理者として管理運営を行ってきたが、趣味の多様化、競合店の増加等により入込客数、売上額共に右肩下がりで推移、近年は慢性的な経常赤字に陥っており、令和2年3月期決算において、債務超過に至った。更に、昨年は春先に発せられた新型コロナウイルス感染予防に係る緊急事態宣言を受け、休業等により売上が激減している。更には、昨年末からの新型コロナ再拡大により、より混沌とした状況に陥っており売上回復の見通しも不透明な状況である。また、手元資金枯渇の恐れから、セーフティネット保証制度により3千万円借入を行い、令和4年3月期よりその返済が開始される予定である。

これまでの町の関与については、仲南振興公社はまんのう町の出資割合が50%以上であることから、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、その経営状況について、毎年度議会へ報告しており、また事業内容等については継続的に指導をおこなってきた。

#### 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」（以下「指針」という。）に定める【抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討のフローチャート】によると、当該法人については、民間企業の立地が困難な旧仲南地区の農業振興や地域活性化を図ることを目的に、旧仲南町が93.1%を出資して設立された第三セクターであることから、現在も事業そのものの意義（行政目的との一致度）は有している。

また、採算性については、いわゆる債務超過の経営状況にある以上は、原則として「採算性」が無いということになるが、公共性、公益性の高い事業を実施していることから、引き続き当該法人での事業実施を前提としつつ、事業手法の方向性を判断する。

#### 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

部門別の採算性の判断による、不採算部門の廃止など、切るべきところ、改善し伸ばしていくところを判断し、業況改善を目指す。具体的には固定費、変動費削減による損益分岐点の低減、K G I・K P I等の目標管理体制の整備、キャッシュレス化をはじめとするデジタル技術の活用、従業員の接客レベル向上を基本としたサービス力の向上などにより効率をあげ、早期の債務超過解消を目指す。

しかしながら、運営する温浴施設、宿泊施設、道の駅併設の産直等は新型コロナウイルス感染症による影響が大きい業種である。同感染症収束の兆しはまだ見えず、影響の長期化が見込まれることから、売上の増加は困難な状況が続くと思われるが、「withコロナ」を見据えた事業内容の検討を行う。

#### 6 法人の財務状況

(単位：千円)

項目	H30.3期	H31.3期	R2.3期	
貸借対照表から	資産総額	35,779	36,623	32,308
	うち現預金	22,848	13,809	9,269
	うち売上債権	1,310	1,117	1,235
	うち棚卸資産	4,692	3,853	4,472
	負債総額	33,727	36,212	33,038
	うち当該地方公共団体からの借入金	0	0	0
純資産額	2,052	411	-730	

(単位：千円)

項目	H30.3期	H31.3期	R2.3期	
損益計算書から	経常収益	147,523	147,135	142,882
	経常費用	156,807	153,490	151,843
	経常損益	-9,284	-6,355	-8,961
	経常外損益（税含む）	-628	4,714	7,820
	当期純損益	-9,912	-1,641	-1,141